

普連土学園校友会報

平成29年7月31日

普連土学園校友会発行

電話 03-3451-7700

第 98 号

東京都港区三田 4-14-16 郵便番号 108-0073

F A X 03-3451-1959

責任者 富山 恵子

E-mail: friends@f-koyukai.com



就任のご挨拶

新名誉会長
青木 直人

大学を卒業してはじめて教壇に立たせていただいた懐かしい普連土学園に、じつに二七年ぶりにお世話になることになりました。四月より校長に就任いたしました青木直人と申します。校友生の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

普連土で三年間を過ごしたあと、京都の神学校で学ぶこと四年、神戸の教会で牧師として二年、大阪にあるキリスト教主義の女子校で、聖書及び国語の教師として二二年間働かせていただきました。

久しぶりに眺める普連土のたたずまいは大きく変わりましたが、学園が大切にしてきた目に見えない価値は、通奏低音のように変わることな

目次
総会
田中節子先生の追悼
ホームカミング
Englishの先生特集
創立130周年特集
校友会って何?
関西支部

く流れています。否、二七年の歲月は、新米の教師には見えなかつた土台の部分を明らかに意識させてくれます。教師が生徒のことを「さん付け」で呼ぶこと、高い教壇を置かないこと、礼拝には「司会者」がいなこと、多数決でものごとを決めないこと——一伝統校の慣習だと思つていたことが、じつはフレンド派ならではの信仰の深みから出て来たものなのだということが、今ははつきりと理解できるようになりました。

キリスト教の教会政治の形態は、三つのタイプに分けられます。トップダウン式の監督制、代表民主制の長老制、直接民主制の会衆制。フレンド派はこの最後のタイプに属します。その教派によって設立された学校ゆえ、神さまの前に一人ひとりが皆平等、教師と生徒という役割の違いはあるけれど、それはけつして身分の上下ではないのだと考える。同じフロアに立つからこそ、教師もただ教えるだけでなく、生徒からたくさんのお話を学び、成長していけるのです。教師にとっても普連土は最

高の学びの場といえます。
空へ散る花 高台の女学校

稲守ゆきほ

三〇年前、勤めて二年目に入ったころに詠んだ句です。現在の中門を入ったところに立っていたこの桜の古樹はもうありませんが、青空の高みを指して舞い上がろうとする若い魂は、幸い健在のようです。そして、この学園で学び大空へと散じて行った卒業生は、それぞれの人生を輝かせながらなお普連土学園を愛し、今もさまざまなかたちで学園を支えてくださっています。就任二ヶ月のうちにも垣間見ることのできた校友生の皆さまの、普連土学園に寄せるしんじつな想いに感動すら覚えます。

神は彼らを祝福して言われた。
「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地上を這う生き物をすべて支配せよ。」

(創世記一章二八節)

「支配」はむしろ「管理」と訳すべき言葉。神さまはこの世界を管理せよ、懇ろにお世話しなさいと、私たち人間に託されました。

普連土学園も神さまからお預かりした大切な宝物。そこに集められる生徒一人ひとりも、神さまからの預かりもの。おざなりにはできない貴重なミッションとの畏れを胸に、関わりあるすべての皆様と手を携えて歩んでまいりたいと思います。

2017年度

校友会総会

6月3日
(土)
11時～14時30分
●新渡戸稲造
ホール(旧講堂)
●ロースホール
出席者
138名

2017年度校友会総会は6月3日(土)母校の講堂で行われ、議案は全て承認されました。

FLIL世界大会報告
理科教諭 鈴木 太朗

第一部 総司会副会長松浦 栄子
奏楽 酒井 恵生
礼拝 司会 会長 富山 恵子

讃美歌 122番 312番
聖書「コリント人への第一の手紙」

第13章4節～7節、13節

普通土学園理事長挨拶 島中ルイザ

「種まきファンド」への寄付のお蔭で中学校校舎の前に桜を植えられた。新しいコンピュータを入れた。これからの地球を守るため不可欠な道具だから。将来に向かって普通土生は頑張るだろう。

学校報告 校長 青木 直人

▼30年前100回生と共に普通土に教師として赴任した。3年間教えた。27年前は見えなかったものが生徒の素晴らしさと共に見えてきた。礼拝の讃美歌はきちんと歌えて日本一ではないか。西の関西学院、東の普通土学園と言える。▼校友生は単なるノスタルジーでなく母校に対してぶれない深い思いを持っている。

FLIL世界大会報告

レゴを使ってロボットを作り色々な作業をさせる大会がデンマークで行われた。日本大会で発想のユニークさとプレゼンテーションのすばらしさで特別に大会の出場を認められた。世界大会では賞は逃したが、普通土生だけ通訳を使わず英語で発表し、多くの国の人達と交流もできた。

事務会議事 司会副会長松浦 栄子

2016年度年次報告 (Friends Fund 顧問)

2016年度年次報告

総会 5月28日 129名
ミステリーツアー 10月4日
・ 聖天宮、遠山記念館、川越 41名
・ バザー 11月11日 後援会と共催
・ 校友生の当日手伝い 153名
・ クリスマス礼拝12月10日119名
講師 伊藤文枝先生
「クリスマスの不思議」

お祝い贈呈
4月 新入生に校章入りタオル
9月 敬老祝いに絵葉書セット
3月 卒業生に小袱紗

副会長 山本 礼子

2016年度監査報告
熊澤勢以子監事より監査報告

2017年度年次計画
副会長 山本 礼子

総会 6月3日(土)11時

新渡戸稲造ホール、ロースホール
映画鑑賞会6月24日(土)13時30分
「ポー川のひかり」 ロースホール
バザー11月11日(土)後援会と共催
クリスマス礼拝12月9日(土)11時
A音楽室 親睦会12時
語り 2月24日 A音楽室
上月麻未(伊藤真弓さん)90回生
出版「会報」98号・99号発行予定
お祝い贈呈

指名委員交代
(新任)
柴田貴子 61回
山本礼子 70回
澁谷美智子 72回
戸田衣子 76回
千田孝子 53回
舟橋富士子 54回
木津陽子 68回
鈴木 道 69回
島田恵子 70回
村上多賀子 70回
委員会委員紹介
会長 富山 恵子
同好会紹介
会長 富山 恵子
ミニコンサート
「ジャズでひとときをー」
小坂直輝・カイドーユタカ
ジャズの華麗なリズムに思わず乗って楽しいコンサートでした。

会則改正
会長 富山 恵子

会則改正
会長 富山 恵子

第二部 親睦会 ロースホール

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

住所 108-0073 東京都港区
三田4丁目14番地16号

役員改選
指名委員長 田原 淳子

役員改選
指名委員長 田原 淳子

役員改選
副会長 赤木まき子81回
書記 藤永春野 95回
会計 廣田雅子 79回
副会長 山本礼子 70回
書記 吉田さやか100回
会計 川島弥生子100回

指名委員長 田原 淳子

指名委員長 田原 淳子

指名委員長 田原 淳子

副会長 山本 礼子

副会長 山本 礼子

副会長 山本 礼子

書記 藤永春野 95回

書記 藤永春野 95回

書記 藤永春野 95回

会計 廣田雅子 79回

会計 廣田雅子 79回

会計 廣田雅子 79回

副会長 山本 礼子

副会長 山本 礼子

副会長 山本 礼子

書記 吉田さやか100回

書記 吉田さやか100回

書記 吉田さやか100回

会計 川島弥生子100回

会計 川島弥生子100回

会計 川島弥生子100回

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

出版「会報」96号・97号発行

普連土学園校友会2016年度収支決算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

■収入の部		(単位：円)	
科 目	予算金額	決算金額	備 考
会費	4,560,000	4,638,000	高校生校友会費(386名+6000円)
運営費	5,000,000	5,776,500	校友生納入分(2310.6口)
バザー収益	1,100,000	1,368,357	
奉仕活動協力金	200,000	339,983	幹事会時献金、事業委員会献金、クリスマス献金
雑収入	160,000	200,615	タオル・コピー・タックシール代、支部連絡費入 他
受取利息	300	197	預金利息
収入計	11,020,300	12,323,652	
■支出の部		(単位：円)	
科 目	予算金額	決算金額	備 考
総会費	300,000	147,203	謝礼、お花代 他
諸会費	100,000	77,736	幹事会お茶菓子代 他
人件費	1,400,000	1,171,800	事務手当 他
委員会活動費	670,000	604,243	事業・出版・バザー 第2回・第3回
ホームカミング費	30,000	21,430	
通信費	2,200,000	1,987,321	会報96号・97号、幹事会・総会連絡費 他
印刷費	750,000	794,577	会報96号・97号、総会案内 他
消耗品費	800,000	775,194	事務用品、コピー機リース代及び保守代、備品 他
光熱水費	360,000	360,000	
交通費	460,000	476,746	
電話料	320,000	284,866	電話、FAX通信料
慶弔費	700,000	372,224	入学祝、卒業祝、敬老祝、お梅やみ花カード 他
支部連絡費	70,000	51,933	関西支部
クリスマス礼拝	130,000	103,833	お花代、親睦会費用、講師謝礼 他
奉仕活動費	334,000	499,100	年賀状送料、クリスマス献金、花のり外、熊本地蔵堂寄附金
同好会補助費	120,000	120,000	コーラス部・聖書の会
支払手数料	250,000	225,476	運営費の振込手数料 他
雑費	20,000	8,316	振込手数料 他
基本金積立	1,000,000	1,000,000	
特別積立	1,000,000	1,000,000	
奨学金積立	0	0	
予備費	300,000	0	
支出計	11,314,000	10,081,998	
差引額(収入-支出)	△ 293,700	2,241,654	
前年度繰越金	2,653,116	2,653,116	
次年度繰越金	2,359,416	4,894,770	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。

2017年4月17日
監事 江あき江 印
熊澤勢以子 印

普連土学園校友会2017年度予算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

■収入の部		(単位：円)	
科 目	予算金額	備 考	
在校生会費収入	4,560,000	高校生校友会費 380名	
卒業生運営費収入	5,500,000	校友生納入分 @2,500×2,200口	
バザー収益	1,000,000		
130周年記念品収益	100,000		
奉仕活動協力金収入	200,000	幹事会時献金、クリスマス献金 等	
寄付金収入	0		
雑収入	10,000	タオル・コピー・タックシール代 他	
受取利息	100	預金利息	
前年度繰越金	4,894,770		
合計	16,264,870		
■支出の部		(単位：円)	
科 目	予算金額	備 考	
総会費	300,000	謝礼、お花代 他	
諸会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人件費	1,400,000	事務手当 他	
委員会活動費	660,000	事業・出版・バザー	
130周年記念品	270,000	クリアファイル、透明封筒	
ホームカミング費	30,000		
通信費	2,200,000	会報98号・99号、幹事会・総会連絡費 他	
印刷費	800,000	会報98号・99号、総会案内 他	
消耗品費	750,000	事務用品、コピー機リース代及び保守代 他	
光熱水費	360,000		
交通費	500,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料	
慶弔費	600,000	卒業祝、敬老祝、お梅やみ花カード 他	
支部連絡費	40,000	関西支部	
クリスマス礼拝	130,000	お花代、親睦会費用	
奉仕活動費	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ	
同好会補助費	120,000	コーラス部・聖書の会	
支払手数料	250,000	運営費の振込手数料 他	
雑費	20,000	振込手数料 他	
基本金積立	1,000,000		
特別積立	1,000,000		
奨学金積立	0		
予備費	300,000		
前年度繰越金	4,934,870		
合計	16,264,870		

2016年度特別会計収支決算書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	14,354,167		
経常費より	1,000,000		
利息	213	次年度繰越金	15,354,380
合計	15,354,380	合計	15,354,380
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	10,480,255		
経常費より	1,000,000		
利息	89	次年度繰越金	11,480,344
合計	11,480,344	合計	11,480,344
●奨学金積立			
前年度繰越金	11,516,744		
返済	540,000	次年度繰越金	12,056,744
合計	12,056,744	合計	12,056,744
●校友会への寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,414,325		
寄付	23,548		
利息	38	次年度繰越金	4,437,911
合計	4,437,911	合計	4,437,911
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,404		
利息	14	次年度繰越金	1,782,418
合計	1,782,418	合計	1,782,418

2017年度特別会計予算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	15,354,380		
経常費より	1,000,000		
寄付金積立より	4,437,911		
名簿積立より	1,782,418		
利息	200	次年度繰越金	22,574,909
合計	22,574,909	合計	22,574,909
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	11,480,344	130周年記念寄付金	10,000,000
経常費より	1,000,000		
利息	50	次年度繰越金	2,480,394
合計	12,480,394	合計	12,480,394
●奨学金積立			
前年度繰越金	12,056,744		
奨学金返済	500,000	次年度繰越金	12,556,744
合計	12,556,744	合計	12,556,744
●寄付金(校友生等からの寄付金口座)			
前年度繰越金	4,437,911	基本金積立へ	4,437,911
利息	0	次年度繰越金	0
合計	4,437,911	合計	4,437,911
●名簿積立			
前年度繰越金	1,782,418	基本金積立へ	1,782,418
利息	0	次年度繰越金	0
合計	1,782,418	合計	1,782,418



ミニコンサート「ジャズでひとときを！」

田中節子先生の思い出

教頭 浜野 能男



昨年12月23日、1990年から4年間校長を務められた田中節子先生が88才で逝去されました。田中先生は山梨県での教員としてご勤務を経て、1969年、数学科教諭として普通連士学園に奉職され、25年間にわたり、教員、生徒から深い信頼を受け、職務を全うされました。

田中先生を思う際にまず第一に思い出されるのは、その落ち着いたご誠実な人柄です。自ら語るよりも前に、よく人に耳を傾けてくださり、学園から何か依頼した方、ご協力頂いた方には、細かい気配りを欠かさないう先生でした。

また普通連士学園の教育の柱である、「礼拝」「奉仕」を大切にされ、礼拝のお話しでも度々「礼拝があつてこそその普通連士である。」ことを強調され、奉仕の教育では、校務分掌としての奉仕委員会を設立し、中高を通じて各学年で視覚障害、聴覚障

害、身体障害、知的障害、高齢者問題というテーマに基づいて、お話しを伺うだけでなく、点字、手話の学習や障害の疑似体験、奉仕活動への積極的な参加など、現在の多角的な奉仕プログラムを築されました。

また、時折見せられる「お茶目」ともいえる一面もあり、学園祭で教員が「白雪姫」を上演した際、「魔法使い」役であった先生が、マントや杖などあれこれと「凝って」選んでいらつしやつたこともありました。テスト終了時にお面をかぶられて、テストが終わつて生徒が顔を上げるとみんなびびつくりといったことがされたこともあつたそうです。

普通連士学園の依つて立つ礼拝、奉仕を大切にし、その教育の実現に大きな成果を上げられ、同時に人間的な魅力にもあふれた先生でした。ご冥福を心よりお祈りいたします。

「懐かしい感覚の再現
ホームカミングに参加して」

メールでホームカミングの御案内をいただいた時、最初に目に入ったのは「ハレルヤ合唱」のプログラムでした。クリスマス礼拝で歌つたハレルヤコーラスは、とても印象深く、毎年、懐かしく思い出していました。「また、合唱したい!」と、すぐに

第3回
ホームカミング

97 102 107 回生

2017年3月25日

参加の返信をしました。

そして当日、当時のパート毎に分かれて着席し、不思議な感覚にとら

事でした。

更に、浜野先生の礼拝のお話を伺つて、卒業後、色々な価値観に触れて心の奥に隠れていた、普通連士らしさを思い

出しました。そして、私の土台は確実に普通連士で培つた価値観から成っていると再確認し、多感な6年間を普通連士で過ごせた事、大切なモノを与えて頂いた事に、あらためて感謝を覚えております。

これまでも、個人的な集まりやクラス会もありました。

ただ、旧友だけでなく、校舎、先生方、礼拝、授業と様々な環境が再現された、この「ホームカミング」は本場に特別な時間でした。

御準備に関わつた幹事の皆さま、先生方はじめ学校関係の皆さま、この特別な時間を有難うございました。

かけがえのない普通連士学園のために、そろそろ恩返しをしなくてはと、思いを巡らしております。

(102回生 島田綾乃)



「懐かし〜Englishの先生」

Delia Domingo Albert先生が普連土学園を訪問されました



ドミンゴ先生が5月10日、学園で畠中先生や当時の教え子達と50数年ぶりに再会しました。

先生は1963年4月より65年7月まで英会話を担当。ESS・フォークダンス・英語劇を指導されました。帰国後はルーマニア・オーストラリア・国連などで外交官として活躍。ドイツ大使、更にフィリピン外務大臣を務めASEAN・APECでも要職を歴任という輝かしい経歴を積まれました。今回はGSW (Global Summit of Women) 東京大会に出席のため来日されました。

先生は鮮やかなエンジ色のパンツスーツ姿で秘書二人を連れ、当時のアルバムやフィリピンの伝統工芸品を携えてお見えになりました。小柄でエネルギーッシュでチャームिंगな姿・話し方は昔そのままでした。

ご持参のアルバムには東北・関西の修学旅行の写真、今は亡き石田先生・入野野先生・池田先生・与謝野先生が嬉しそうに笑っている写真、そしてドミンゴ先生が雑誌『装苑』の表紙にモデルとして出た切り抜きなど懐かしい写真が見事にきちんと整理されていました。日本滞在中のアルバムは5冊ありそのうちの1冊をお持ちになったそうです。

その後昼休みの体育館でフォークダンス部員によるバンブーダンスを見学。今や普連土名物のバンブーダンスは50年以上前にドミンゴ先生がフィリピンの伝統ダンスを教えた下さつたのが始まりです。生徒さんも元祖の前で緊張しつつ素晴らしい踊りを披露して下さいました。

当時よりも迫力の増した



バンブーダンス



お土産の伝統工芸品



フォークダンス部員と

踊りに先生もその頃先生から直接習った方も感激していました。

他にも様々なお話を伺いました。英語劇「ピナフォー」のエピソードの数々、現在の日本女性の仕事と家庭の両立問題、フィリピンと中国の関係や今おきている国際問題、更に昨年天皇陛下のフィリピンご訪問時、共通の知人バイニング夫人（クエーカー教徒・天皇の家庭教師）のことで話が弾んだことなど。お話は尽きることがありませんでした。昔と変わらない笑顔と好奇心いっぱい表情で校友生たちと会話を楽しませ、当時お住まいのフレンズセンターに立ち寄りお帰りになりました。

(72回生 森本明子)

124回生 新任幹事紹介

この春学園を卒業したばかりの校友生から、今年も6名の幹事さんが誕生しました。

◆大学生活にも慣れてきましたが、普連土の居心地の良さを卒業して改めて感じる日々です。新しい環境で苦しむこともあると思いますが、普連土で培った力で乗り越えていきます。そして幹事として、普連土生と繋がりを保ち続けます。

(春原麻帆)

◆124回生がこれからの人生の様々なタイミングで学園を思い出した際に気軽に立ち寄ることができるよう、幹事として努めさせていただきます。よろしくお願ひ致します。(占部愛子)



上段左より
占部愛子さん、佐藤ひかりさん、春原麻帆さん
下段左より
中村萌さん、禿河紫音さん、森彩夏さん

創立130周年特集

— Family Tree —

祖母から母、そして娘へ～ 同じ母校で育まれて

今年、普通連士学園は創立130周年を迎えます。大勢の卒業生が学園で学び続けてきましたが、その中でも親子2代、3代卒業生というご家族も多くいらっしゃいます。今回130周年の節目に親子3代、4代、5代普通連士で学ばれたご家族にお話を聞きしました。

をお聞きしました。

祖母・母の学んだ学園にご自身が入学したという娘としての思い、又娘・孫娘を学園に入学させた祖母として母としての思いをまとめました。

§ § § § §
 このご家族でも共通していたのは入学が決まった時に親よりもおばあさまが喜ばれたということでした。

祖母に良い学校だからと勧められ進学した、祖母が校風を気に入っていたなど。

娘や孫娘を進学させた理由としては絶対の安心感・教育方針がよく分かり信頼している・宗教上も理解できるなどのご意見が多くありました。お嬢さんご自身が「ママの学校

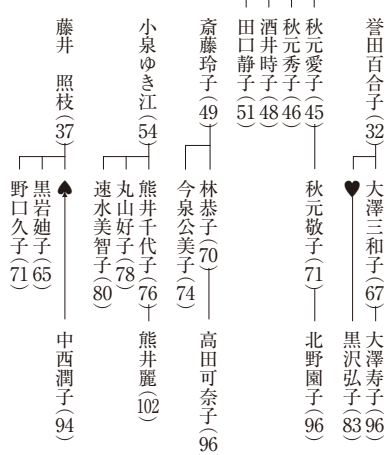
●5代のご家族

富山とき(11) — 中岡和子(44) — 富山恵子(73) — 富山貴生(100) — 富山里美(中3・128)

●4代のご家族

内藤栄(16) — 山本哲子(46) — 田中伸子(71) — 田中文字(95) — 田中元子(98) — 田中有子(108) ※()内は回生

●3代のご家族



も頂けました。

今回調べた中で最も長く5代続いている富山恵子様(73回生)は「5代も同窓生になるということは『普通連士学園130周年の重みを実感しているなあ!』と感慨深く思います。」とおっしゃっています。

ここでご紹介した他にも数代に渡って卒業生というご家族も多く存在すると思います。そういえば同級生のあの方はお母さまも卒業生とおっしゃっていたなあ、あの方はお姉さまも学園にいらしたなあなど、それぞれが懐かしい学園生活を思い出すきっかけになりましたでしょうか。

今後も創立140周年、150周年にむけて普通連士で学ぶ同窓生が増えていく事をそれぞれの場所で願いたいと思います。

最後に今回お話し下さいました皆様、ご協力ありがとうございました。

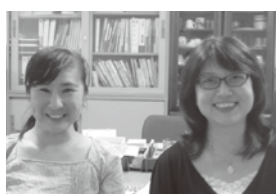


みなさんは「校友会室」ってご存知ですか? 校友会室は中学校校舎の一階に職員室だったお部屋です。その一角にひっそりと校友会事務所があり90回生山口玲子さんと100回生吉田麻衣さんのお二人が交代で勤めています。

現在約7300名の校友会会員のみなさんのお手元に会報やお知らせが届くのも校友会事務所の日々の業務のおかげなのです。

その業務は大変幅広く、学校との連絡や以下の校友会活動の準備・資料作成・連絡などを担っています。

- ◆ 総会、バザー、クリスマス礼拝
- ◆ 毎月開催する幹事会
- ◆ 各委員会、同好会活動
- ◆ 会員の動向変更(姓名や住所など)
- ◆ 亡くなった会員へのお祝い
- ◆ 80歳になった会員へのお祝い
- ◆ みなさんからの運営費その他の会計全般



左から吉田麻衣さん、山口玲子さん

普通連土たより 学校近況

百六十九信

4月6日、137名の新入生を迎え、中学入学式が行われました。

入学式で青木校長は住む場所も、肌の色も、考え方も互いに違う人間が、互いに遠ざけ合うのでなく、そんな人もいる、そんな考えもあると思うことから世界は広がること、さらに、学園での6年間で人を隔てる壁を乗り越える愛の力を身につけるよう求めました。また自分で考え、自分で行動し、対話によって問題を解決していくコミュニケーション能力の大切を訴えました。

◎今年度の教職員の異動

【新任】

- ☆校長 聖書科 青木 直人
- ☆常勤講師 理科 田中真梨乃
- 保健体育科 高田 羽純
- 英語科 佐藤 真帆
- ☆非常勤講師 国語科 金久保幹子
- 国語科 岡川 志保
- 数学科 田代 優歩
- 数学科 赤瀬 博樹
- 数学科 上迫 和清
- 理科 菅沼 正明
- 技術・家庭科 小磯 哲一
- 保健体育科 田島加苗子

【異動】

☆校長から教頭へ

英語科 浜野 能男

☆常勤から非常勤講師へ

理科 佐藤益也子

【退職】

☆常勤講師 横田 永牙 (理科)

堀田 祥世 (保健体育科)

☆非常勤講師 飯高 明子 (国語科)

池田 美保 (国語科)

笠原 亮太 (数学科)

熊谷 みち (数学科)

田尾 祐馬 (数学科)

横田 典宣 (数学科)

栗山 裕二 (理科)

久保 大樹 (理科)

渡邊 清 (技術・家庭科)

榊原 啓子 (保健体育科)

中村 玲子 (保健体育科)

濱野ゆうり (保健体育科)

才間 郁 (聖書科)

☆囑託 カウンセラー 堤 亜美

(浜野 能男先生記)

校友生の皆様へ

教頭 浜野 能男

私の校友会の皆様との最初の思い出は、もう30年以上前になりますが、夏休みに学園の山中湖寮の管理人として、校友会の修養会のお世話をさせていただいた時のことです。普通連土学園を誇りとし、年齢を重ねられても、お元気で快活な皆様のご様子が強く印象に残りました。その後教頭、副校長、校長と学園の運営に携わり、校友生の皆様が、ご寄付のみならず、総会、バザー、クリスマス、最近のホームカミングデー、一三〇周年記念コンサート等様々な機会に学園での教育が皆様お一人お一人にとってどれほど大切なものか、学園を支えて下さっているかを感じてまいりました。

この度、教頭と立場は変わりましたが、学園の教育の成果そのものである校友生の皆様あつてこそその普通連土学園という思いをますます強くしております。どうぞ今後とも様々な機会でのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



クエーカーレディ

春の

関西フレンド会

102回生 上山 昭穂

葉桜の神戸北野ホテルにて平成29年度関西フレンド会が催された。兵庫・大阪・京都・滋賀・和歌山・奈良に住む約120名の同窓生からなる同会では、有志運営部により葉書にて案内を送付、毎回10〜20名の同窓生が集う。今年は13名が参加、本部より会長・副会長も来訪されホームカミングなど懐かしい母校の様子と手作りの巾着を届けてくださった。

49回生から112回生まで参加者も様々だがひとたび会が始まると話は尽きず母校で過ごした青春と現在を分かち合う。多感な頃に受けた精神教育が世代を超えた繋がりととなり、それを育んだ環境を次世代にも残したいと心から思わせられる温かい会だ。



このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

校友会だより

◆バザーのお知らせ

日時 11月11日（土）
バザーは後援会との共催です。同封のチラシをご覧ください。皆様のご協力をお願いいたします。会員のご協力をお願いいたします。会員の皆様のご参加とご協力をお待ちしています。

◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月9日（土） 11時～14時
場所 普連土学園A音楽室（礼拝）
講師 青木直人校長先生
礼拝では「ハレルヤ」を歌います。その後生徒ホールでの親睦会では軽食をいただき、コーラス部のクリスマスキャロルを聴いてクリスマスを祝います。皆様の参加をお待ちしております。申し込み不要。

校友会生のみなさま
運営費納入を
お願いします

ひとり2,500円の運営費が
校友会活動を支えています。

◆事業委員会よりお知らせ

語りの公演会 ― 話芸写 ―
日時 2018年2月24日（土）
13時開場 / 13時30分開演
於 普連土学園A音楽室
「話芸写」とは、「語り」を通して、言葉と声の表現の世界を追及する集団です。

今回は、こちらに所属する上月麻未さん（伊藤真弓さん 90回生）をお招きして、語りの世界を堪能させて頂きます。
尚、上月さんのお母さま、北川智繪さん（話芸写主宰）にも、以前、公演して頂きました。
※事前申し込み不要。／入場無料。
／上履きをご持参ください。

◆校友会事務所からのお願い

住所・氏名など変更された方は速やかに事務所までお知らせ下さい。計報につきましても同じくご連絡下さい。
事務所は火曜日～金曜日の10時から16時（火曜日は15時）の間、開いております。

なお7月24日より8月31日までは夏休みのため閉室しております。

訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

旧職 田中節子	16・12・23	52 A 有本 文	16・9・9
42 高橋 淳子（武本）	17・2・2	52 A 樋口加津子（奥山）	15・1・8
45 小瀬 茂子（喜多村）	5年前	52 A 外狩 悦子（佐古）	不明
45 斎藤 澄子（國友）	16	52 A 松内 智子	16・9・9
45 松本 洋子（神戸）	16・5・17	55 野村美知子（杉本）	17・2・21
46 篠田 寿子（村上）	17・1・6	56 A 虎谷 芳江（井上）	13・8・23
48 高井 紀子（利根）	15・6・20	60 坂本 咲恵（石井）	17・3・13
48 藤原 佳（田沼）	1年前	61 田中 晶	16・12・31
48 藤井 勝子（伊藤）	17・2・8	62 茂木 順子（鈴木）	16・11・5
50 市川 恵子（高橋）	16・11	63 太田八千代	17・4・4
51 矢部 久子	6・8・11	63 平山ミナ子（田内）	17・5・29
51 佐野 京子（近藤）	16・12・29	65 福山 瑛子	16・12・11
51 菊池 文	16・11・7	66 棒 和子	16・12・29
51 佐野 京子（近藤）	16・12・29	67 長谷川淑子（菊池）	16・6・13
		67 高橋 優子（井上）	16・12・2
		73 塚本 文代（池内）	17・3・19

編集後記

学園も創立130周年を迎え、校友会も4月より新しく124回生が加わりました。普連土学園の長い歴史の重みを感じます。特集記事お楽しみいただけましたでしょうか。

校友会・出版委員会に長い間ご奉仕下さった田中晶さん（61回生）が昨年未お亡くなりになりました。でも今号は委員の志望企業への就職内定や待望の男児出産など嬉しいニュースが続く中での編集でした。気候の変動が激しく体調を崩す方も多いようです。今年の夏も猛暑となりそうですが、皆様どうぞお元気にお過ごしください。

（千田・入江・鈴木・森本・渡邊・熊井・白井・川上）